

## 平成30年度第1回 江別市子ども・子育て会議要旨

日 時：平成30年5月22日（火）14時～

場 所：江別市民会館 36号室

出席者：江別市子ども・子育て会議委員13名

赤川和子委員、石塚誠之委員、内館佳子委員、木村吉憲委員、久保靖代委員、  
鷹架諭委員、高本亮委員、土田梨乃委員、鶴田百恵委員、林大輔委員、  
藤野友紀委員、松本直也委員、山下美恵委員

江別市（事務局）10名

佐藤健康福祉部長、西田子育て支援室長、四條子育て支援課長、中村子ども育成  
課長、伊藤子ども育成課参事（子育て支援センター事業推進担当）、宮崎子育て支  
援課子ども家庭係長、首藤子ども育成課給付係長、尾崎子育て支援課主査（計画  
担当）、野本子ども育成課主査（子育てサービス担当）、出水子育て支援課子ども  
家庭係臨時職員

傍聴者：1名

### 1 開会

○四條子育て支援課長

開会あいさつ。委員14名中13名の参加報告。

### 2 委嘱状交付

### 3 佐藤健康福祉部長挨拶

### 4 委員紹介

### 5 議事

次第5議事の（1）協議事項①「教育・保育施設運営事業者公募に係る選定について」  
は、非公開案件のため、議事録省略

○藤野会長

次の議題である報告事項に移る前に、傍聴者の入室を許可したいと思います。事務局は、  
傍聴者を会場に案内してください。

——傍聴者 1 名入室——

○藤野会長

改めまして、次第 5 議事の（2）報告事項①「子どもの生活実態調査（案）について」事務局から説明をお願いします。

○四條子育て支援課長

概要をご説明した後、担当主査からご説明いたします。

資料 2 「子どもの生活実態調査（案）について」をご覧ください。今年度当市では、市内の子どもの生活環境や家庭が抱えている状況を把握し、子どもに係る今後の施策を検討する基礎資料とするため、子どもの生活実態調査を実施することとしております。

調査につきましては、詳細は後ほどご説明いたしますが、市内の小中学校の協力をいただきながら行う予定でございます。調査時期等につきましては、担当主査の尾崎よりご説明いたします。

○尾崎子育て支援課主査（計画担当）

「子どもの生活実態調査（案）について」ご説明いたします。

北海道や札幌市は平成 28 年度中、函館市や旭川市は平成 29 年度中に子どもの生活実態調査を実施しており、当市につきましても今年度中に子どもの生活実態調査を実施することになりました。

「1 調査目的」は、只今四條よりご説明したとおりであります。

「2 調査対象」は、記載のとおりであります。「4 調査方法」にも記載しておりますが、小学 2 年生、小学 5 年生及び中学 2 年生につきましては、各学校を通じアンケート用紙の配付・回収を実施する予定であります。高校 2 年生につきましては、郵送によりアンケート用紙の配付・回収を実施する予定であります。

先に子どもの生活実態調査を実施している自治体の状況は、学校を通じアンケート用紙の配付・回収をいたしますと回収率が 7 割を超え、郵送によりアンケート用紙の配付・回収をいたしますと回収率が 3 割程度であります。

よって、当市の子どもの生活実態調査の回収率は、学校を通じアンケート用紙の配付・回収するものと、郵送によりアンケート用紙の配付・回収するものがありますので、6 割程度を想定しております。

「3 調査内容」は、保護者につきましては、就労状況、収入及び暮らし向きなどについての内容であります。子どもにつきましては、健康状態、学習及び人とのつながりなどについての内容であります。

「4 調査方法」は、無記名によるアンケート方式であります。

「5 実施時期」は、学校の夏休み後から 9 月上旬の予定であります。

「6 道内の子ども生活実態調査実施状況」は、記載のとおりであります。

○藤野会長

それでは、只今の説明につきまして委員の方から質疑がございましたらお願いいたします。

○木村委員

北海道や旭川市は幼児が調査対象ではありませんが、札幌市や函館市は幼児が調査対象であります。江別市が幼児の調査をしない理由を教えてください。

○四條子育て支援課長

調査対象者を選定するにあたっては、「6 道内の子どもの生活実態調査実施状況」の表を見ていただくと、小学2年生、小学5年生、中学2年生及び高校2年生につきましては、基本的にはどの自治体も対象としており、他の自治体との比較を行う上で、重複している部分での調査が必要になると考えております。

2歳及び5歳を含めない理由ですが、学校に在籍していない児童につきましては、郵送で調査を行うこととなり、予算上の制約のほか、郵送での調査では、回収率が低くなります。調査の効果を考えますと小学2年生、小学5年生、中学2年生及び高校2年生において当市では全数調査を実施する予定ですので、それらに対象を絞ることといたしました。

○木村委員

5歳児でしたら幼稚園で配付・回収が可能です。郵送代がかかるとのことでしたが、その部分は解消されると思います。5歳児の調査は実施しないのですか。

○四條子育て支援課長

5歳児の調査を実施いたしますと、幼稚園に在籍している方や保育園に在籍している方も対象になり、郵送料は軽減されますが、郵送料だけではなく、アンケートの入力や分析にも費用を要することになります。この事業につきましては国の交付金を使いながらの事業であり、その範囲内で可能な限り実施したいと考えております。

○山下委員

今回の調査は、横並びで他の自治体と比べることができた方がよいと思いますが、アンケート項目についても同じ考えでよいですか。

○四條子育て支援課長

アンケート項目につきましては、現在、詳細を詰めているところですが、単に同じにするとは考えておりません。先行して実施している自治体の結果から、同じ傾向を示しているような項目につきましては、重ねて聞くことが必要か否かを検討したうえで、割愛することを考えております。それと合わせまして、当市として他の自治体の調査には含まれない、独自の項目が必要かどうかを含めて検討していきたいと考えております。

もう一つの考え方といたしましては、北海道や札幌市では設問数がかなり多く、アンケートに答えていただく負担を考えたときに、ある程度調査項目を絞るべきだと考えております。今後そのような観点で、精査していきたいと思っております。

○赤川委員

調査内容の制度の利用状況についてはどういうものですか。例えば、放課後児童クラブなどの制度について「○」をつけるものですか。

○四條子育て支援課長

当市がメニューとして提供しているサービスの中で、知っている、利用している及び知らなかった、といったように項目ごとに選択式で記入をしていただくことを想定しております。今回の調査につきましては、集計の点から考えて極力文字ではなく、「○」をする又

は数字を書くといった方法を予定しております。

○石塚委員

北海道と札幌市で重なっている項目は、除くかもしれないとのことですが、江別市でも聞いた方がいいのではないかとと思われる項目があると思います。

この調査に対して、予備調査をするのかどうか気になりました。予備調査のご検討をお願いしたいです。

○四條子育て支援課長

調査の項目につきましては、この調査のメインとなる項目は、北海道や札幌市と重複をしても当然聞いていくこととなります。当市の傾向をつかむための項目に当市の独自項目を加えて整理をしまして、他の自治体よりは少ない設問で実施したいと考えております。

もう一点、質問のありました予備調査ですが、現時点で実施につきましては、具体的なところを持ち合わせておりませんので参考のご意見として承りたいと思います。

○内館委員

調査対象の中に障がい児の学級も入りますか。

○四條子育て支援課長

含んでおります。お子さんの回答が難しい状況の場合は、保護者の方からのみでも回答をいただくようお願いしたいと考えております。

○鷹架委員

調査結果についての公表の予定はありますか。

○四條子育て支援課長

調査実施後、11月中に単純集計を終了いたしまして、その後クロス集計等で分析していくこととなります。公表につきましては、単純集計終了後に速報として公表した後、年度内にクロス集計等によりまとめたものを公表することを想定しております。

○赤川委員

調査結果の公表につきましては、紙ベースで公表になるのか、それともWEB上になるのでしょうか。もうすでに終了している他の自治体につきましては、公表されているのか教えてください。

○四條子育て支援課長

公表方法につきましては、最低限WEB上で公表することを考えております。他の方法につきましては、今後検討してまいります。

他の自治体の状況ですが、WEB上で報告書が公開されております。北海道につきましては、各市町村に対して郵送で配付されております。

○石塚委員

北海道と札幌市の調査を基に比較し、アンケート項目を決定すると説明がありましたが、江別市として着目している項目がありましたら教えてください。

○四條子育て支援課長

北海道や札幌市の分析で着目している点は、子どもの属する世帯の所得・収入状況と学業との関係で、所得が高い世帯の方は学力が高いという傾向が見られます。その他には、

子どもの放課後の過ごし方で、昔と比べて子どもがどう過ごしているのかは、変化していると考えておりますので、アンケート結果により、今後の子ども・子育て支援の施策の検討が必要だと考えております。

○藤野会長

他に質疑はございませんか。(なし)

それでは、次の議題の次第6「その他」について事務局から何かございますか。

○四條子育て支援課長

次回の会議の日程についてですが、7月中に開催したいと考えております。内容につきましては、子どもの生活実態調査のアンケート内容につきましてお示ししたいと考えております。日程が近くなりましたら、委員の皆様へ、事前に調整をさせていただきたいと考えております。

○藤野会長

只今の説明について委員の方からご意見・ご質問等がございましたらお願いいたします。

(なし)

それでは、本会議で予定している事項についてはすべて終了いたしました。

以上で平成30年度第1回江別市子ども・子育て会議を終了いたします。